

## 平成16年度の科学技術振興調整費の配分方針

平成16年2月26日  
内閣府政策統括官  
(科学技術政策担当)

平成16年度の科学技術振興調整費については、「科学技術振興調整費の活用に関する基本方針」(平成13年3月22日総合科学技術会議決定)及び「平成16年度の科学技術振興調整費の配分の基本的考え方」(平成15年12月26日総合科学技術会議決定)(以下「配分の基本的考え方」という。)に基づき、別紙を基本に配分することが適当である。

また、選定に当たって、「配分の基本的考え方」に加え、特に留意すべき点は以下のとおり。

1. 「重要課題解決型研究等の推進」のうち、「重要課題解決型研究」については、「配分の基本的考え方」で示した、

### 政策目標1：研究基盤の強化による国力の充実

(課題1-1) 研究開発活動を支える知的基盤整備

### 政策目標2：国際競争力の確保・強化による経済の活性化

(課題2-1) 標準化を狙う日本発技術の研究開発

(課題2-2) デジタルコンテンツ創造等のための研究開発

### 政策目標3：安心・安全で快適な社会の構築

(課題3-1) 新興・再興感染症に関する研究開発

(課題3-2) 情報セキュリティに資する研究開発

(課題3-3) デジタルディバイド解消のための実証実験

(課題3-4) 環境保全・再生に関する研究開発・技術実証実験

(課題3-5) 交通事故対策技術の研究開発

(課題3-6) 犯罪・テロ防止に資する先端科学技術研究

- ( 課題 3 - 7 ) 減災対策技術の研究開発
- ( 課題 3 - 8 ) 障害者支援に資する研究開発

について、基本的にそれぞれ選定を行うこと。

2 . 「新興分野人材養成」のうち、「 大学院修士課程相当のもの」については、「配分の基本的考え方」で示した、

- (a) バイオインフォマティクス、バイオスタティスティクス
- (b) 基盤的ソフトウェア
- (c) 高度環境管理
- (d) ナノテクノロジー融合領域
- (e) 知的財産
- (f) 自然科学と人文・社会科学との融合領域

に関する課題を基本的にそれぞれ選定すること。

3 . 「国際的リーダーシップの確保」のうち、「 我が国の科学技術活動の国際的リーダーシップの確保」については、「配分の基本的考え方」で示した、

- ( 課題 1 ) 先端科学技術全般の国際社会への受容の促進に資するもの
- ( 課題 2 ) アジア諸国等とのパートナーシップの強化につながるもの

について、基本的にそれぞれ選定すること。

(別紙)

## 平成16年度科学技術振興調整費の配分予定額

(単位：億円)

	15年度 予算額	16年度配分予定額	
		15年度 継続分	16年度新 規選定分
<u>16年度新規プログラム</u>			
1. 競争的研究資金配分機関構築支援	-	1	-
			1
2. 重要課題解決型研究等の推進	-	45	-
重要課題解決型研究	-	44	-
科学技術政策に必要な調査研究	-	1	-
			44
			1
<u>15年度から継続しているプログラム</u>			
1. 産学官共同研究の効果的な推進	43	53	38
			15
2. 戦略的研究拠点育成	60	95	70
			25
3. 新興分野人材養成	32.1	47	32
大学院修士課程相当のもの	32.1	42	32
企業等の研究者・技術者の再教育を行うもの	-	5	-
			10
			5
4. 緊急に対応を必要とする研究開発等	3	3	-
			3
5. 国際的リーダーシップの確保	7	6	3
我が国の科学技術活動の国際的リーダーシップの確保	6	5	3
政府間合意等に基づく重要課題協力の機動的推進	1	1	-
			2
			1
<u>経過措置分・評価の実施等</u>	231.9	136	136
			-
<b>合 計</b>	<b>377</b>	<b>386</b>	<b>279</b>
			<b>107</b>

注)「16年度配分予定額」の欄の「16年度新規選定分」の網掛け部分の予定額については、今般の「平成16年度の科学技術振興調整費の配分方針」において決定。